

2024 年 1 月 29 日  
淡路島市長会

## 関西国際空港及び神戸空港の新たな飛行経路（案）に関する意見

2023 年 6 月に国土交通省から示された関西国際空港及び神戸空港の新たな飛行経路（案）については、昨年 11 月から 12 月初旬にかけて、兵庫県が主体となり、神戸市、関西エアポート（株）と連携し、淡路市、洲本市、南あわじ市（以下、「淡路島 3 市」と言う。）の住民に対し、説明会が実施された。

その中で、淡路島を含む関西の成長のためには、関西国際空港と神戸空港の飛行経路の見直しが必要であることは理解できるという意見がある一方、現状においても、深夜・早朝時間帯の陸域飛行制限等の運用順守に対する疑義や、関西国際空港到着機の低い高度による飛行とそれに伴う騒音、飛行経路外の飛行、夜間の貨物便等に関する苦情があった。

さらに、新たな飛行経路（案）については、淡路島陸域上空に 5 本もの飛行経路が新設されることや、出発機・到着機ともに制限高度の引き下げがなされることから、生活環境への影響や不安の声も多く聞かれたところである。

このため、淡路島 3 市は、住民説明会での意見等を踏まえ、環境検証委員会を設置した兵庫県・大阪府・和歌山県をはじめとする関西 3 空港懇談会関係者に対し、次の対応が確実に実施されるよう求める。

### 1. 環境監視体制の強化と積極的な情報公開

現状においても、深夜時間帯の陸域飛行制限等の運用順守に対する疑義や、飛行経路外の飛行に関する住民意見等があることから、現在の飛行経路について適切な運用に努めること。

また、新飛行経路の運用にあたっては、騒音観測地点の追加、飛行実績の監視充実等により、環境監視体制を強化するとともに、運用面において何らかの問題があった場合は、淡路地域において、関西国際空港と共生できる地域づくりを目的に淡路島 3 市・国・兵庫県・関西エアポート（株）で構成する「関西国際空港等に係る淡路地域協議会」等の場において、定期的に報告し、監視結果等について積極的な情報公開と課題解決に努めること。

### 2. 新飛行経路の高度引き上げ

新たな飛行経路（案）において、環境検証委員会で示された騒音予測（コンター図）では環境基準以下であることが示されているが、住民には騒音への不安がある。

そのため、今回示された高度は、安全上の観点からの「制限高度」ではあるが、安全な飛行に影響がない範囲で可能な限り、高度を引き上げた管制運用を行うこと。

### **3. 深夜・早朝時間帯の陸域飛行の制限**

現在、深夜・早朝時間帯（23：00～翌6：30）においては、安全上必要な場合を除き、関西国際空港の航空機は、淡路島陸域上空を飛行しない運用となっている。そのため、新たな飛行経路（案）においても、深夜・早朝時間帯は、淡路島陸域上空を飛行しない運用とすること。

また、今後、神戸空港の運用時間が延長されることとなった場合でも、同様の措置をとること。

### **4. 航空に関する安全対策の徹底**

新たな飛行経路（案）においては、淡路島上空を飛行する航空機が大幅に増える見込みとなっており、航空機事故や落下物等、安全面の心配や懸念の声も多く聞かれている。

そのため、航空機の安全確保や落下物対策等については、これまでも国や航空会社、空港管理者等において、さまざまな取り組みがなされていることは認識しているが、安全・安心な航空機の運航は、航空交通業務の根幹をなすものであることから、航空安全対策の取り組みをより一層強化し、徹底すること。

以上